

Ⅲ. 個人生活について

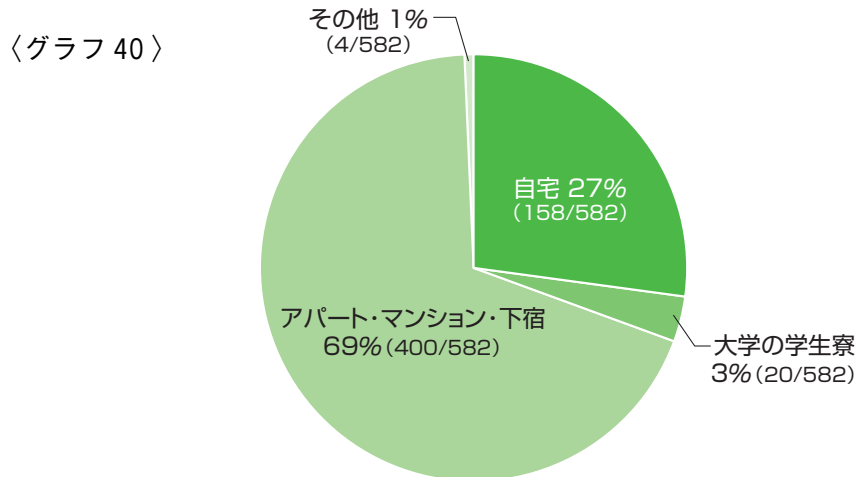
1. 住居

(1) 住居の形態

問 40. あなたが現在住んでいるのは次のうちどれですか。

【現状】

住居の形態は、全学的には「アパート・マンション・下宿」69%、「自宅」27%、「学生寮」3%となっており、これらの割合は他のアンケート項目の「香川県外出身」63%、「高松市を含む香川県内出身」27%をほぼ反映しています。法学部の「自宅」33%は「高松市を含む県内出身」20%と「岡山県出身」13%を合わせた割合と等しく、岡山県は通学圏内であることが示唆されます。一方、医学部医学科の「自宅」9%は「高松市内出身」9%と等しく、「高松市以外の県内出身」17%でも「アパート・マンション・下宿」に居住していることとなります。これは、午前8時30分から始まる濃密で長時間のカリキュラムが背景にあると思われます。「学生寮」居住者には学部による大きな偏りは認められません。



(2) 入寮の検討

問 41. 入学時、本学の学生寮に入ることを検討しましたか。

〔1〕現状

入学時に入寮を検討したのは全体で30%であり、前回の調査に比較して6.5%増加しており、それ以前の調査の中でも最も高くなっています。現在の経済的不況がその割合を増加させているものと考えられます。実際に入寮したのは6%と前回の調査と変わりませんが、申請したが入寮できなかったのは2%であり、入寮要求は高いものと思われます。他のアンケート項目にあるように「香川県外出身」は73%であり、単純にみてもそのうちの約半数が入寮を検討したことになります。

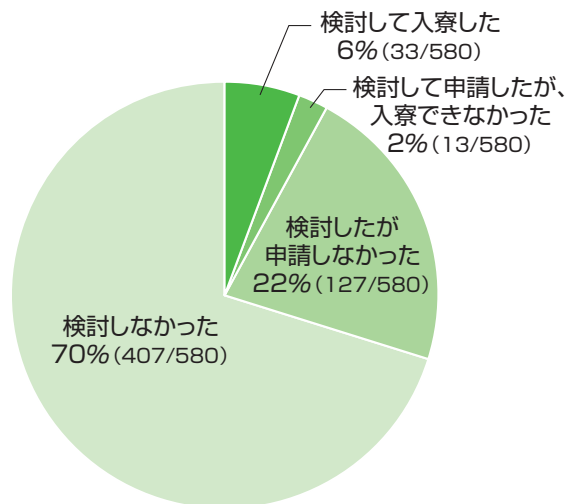
〔2〕課題（問題点）

他のアンケート項目にあるように入寮を検討した理由の第1位は「経済的に安い」ことですが、実際の入寮者は入寮検討者の19%です。学生寮の定員が入寮検討者よりもはるかに少ないことを示しています。

〔3〕対応

大学として安価で安全に配慮した居住空間を提供できるように一層の努力が望まれます。

〈グラフ 41〉

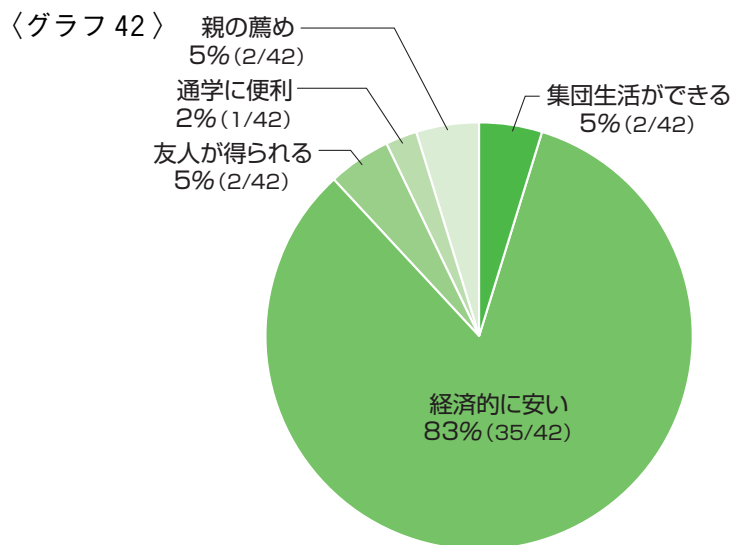


(3) 学生寮を選んだ理由

問42. 問41で「検討して入寮した」又は「検討して申請したが入寮できなかった」と回答した人におたずねします。学生寮を選んだのは、次のどの理由からでしょうか。一つ選んで教えてください。

【現状】

入寮する理由は「経済的に安い」83%、「友人が得られる」、「親の薦め」、「集団生活ができる」が各5%です。「経済的に安い」が前回調査76.7%と同様に第1位を占め、しかも6.3%増加しています。入寮資格である経済的要件を反映しているといえ、経済的不況がその割合を増加させているものと考えられます。



(4) 学生寮を選ばなかった理由

問43. 問41で「検討したが申請しなかった」又は「検討しなかった」と回答した人におたずねします。学生寮を選ばなかったのは、次のどの理由からでしょうか。一つ選んで教えてください。

[1] 現状

項目としては「その他」28%が最も多く、「プライバシーが保たれにくい」19%、「通学に不便」18%、「部屋が共同」15%、「人間関係がわずらわしい」12%、「集団生活が苦手」4%、「部屋が狭い」4%、「親が反対」1%となっています。集団生活に付随するアンケート項目「プライバシーが保たれにくい」、「人間関係がわずらわしい」、「部屋が狭い」、「部屋が共同」「集団生活が苦手」の総合計が54%と過半数を越え、通学の便を加えると72%となっています。

[2] 課題（問題点）

現在の学生寮が、構造や運営上、プライバシーを十分に保てないこと、また、一部の学部や学科にとっては通学に不便な場所にあることが反映されているものといえます。

[3] 対応

新寮建設や寮改築の際には、プライバシーが保てる構造や運営、通学の便に配慮することが必要です。

〈グラフ43〉

